



建設中の(仮称)総合福祉会館

みんなと一緒に考えよう

「まえばし」の財政

皆さんは、本市の財政について、どう考えていますか。長引く景気の低迷で、市の財政も厳しい状況です。納めた税金がどう使われ、どう生かされているのか。みんなと一緒に考えてみませんか。なお、平成十三年度下半期の財政状況がまとめられましたので、併せてお知らせします。

必要な施策は積極的に

本市の平成十四年度一般会計予算の規模は、千七百一億三千六百七十九万円です。

予算編成では、歳入に見合った歳出が基本ですが、市民生活の充実に欠かせない新たな施策も、積極的に推進しなくてはなりません。そのため、限られた財源で最大の効果が上がるように、事務事業の徹底した見直しを進めています。

(仮称)総合福祉会館を例に

もちろん、それぞれの事業を行うには財源が必要です。例えば、市の重点事業の一つで、本年度完成する(仮称)総合福祉会館の建設事業は、十四年度当初予算で十三億六百三十八万円

を計上しました。

内訳は、県からの補助金が九百四万円、公共施設等整備基金からの繰入金金が三億五千万円、市の借金である市債が八億八千五百四十万円、市民税・固定資産税などの一般財源が六千九百九十四万円、六割以上を占める市債は、これから元金・利子を返していかなくてはなりません。

補助金の減少・市税の減収

国・県の歳出全般の見直しの中で補助金が減少傾向にあるほか、市の歳入の四二%を占める市税が、前年度に比べ十億円近く減少しています。特に、長引く景気の低迷で給与所得・法人所得が減ったため、市税の多く

を占める市民税が減少。さらに、地価の下落で固定資産税も減少し、大変厳しい財政運営を強いられています。

コスト意識を皆さんにも

このような中、市民の皆さんに納めていただいた税金が、どのように使われているのか。どういった事業に、市民一人当たりのコストがどのくらい掛かっているのか。本紙では、数値で表すことで、具体的に紹介していきます。

今後、特に市民生活に身近な施策である、バス、ゴミ処理、学校給食、保育所、老人福祉、道路維持補修、消防などの事業について、シリーズで取り上げていきます。受益と負担について、みんなと一緒に考えてみませんか。



本市では1歳児からの保育も行っています